

## 會 務

土木學會誌 第十一卷第三號 大正十四年六月

- 大正十四年三月十八日臨時役員會を開き市瀬、岡野の兩副會長金森、草間、島、竹内、八田、眞島の各常議員中山、野村、原田、廣井、古市、古川の各前會長出席市瀬副會長議長席に着き下記事項を決議せり
  - 一、前役員會に於て懸案となり居たる本年催すべき視察旅行に關しては次回役員會迄に更に考慮を爲すこと
 其他會務に關する事項
- 同年同月二十日土木學會高速度鐵道調査委員會第十八回委員會を開き古川委員長大河戸主査安倍、平井、古川(淳三)、山崎の各委員沼田幹事土井、野坂の兩囑託出席す
- 同年同月二十四日編輯委員會を開き川口委員長黒田、野口、平井、谷井、山崎の各委員三浦囑託出席會誌編輯上に付き協議を爲せり
- 同年同月二十七日土木學會高速度鐵道調査委員會第十九回特別委員會を開き大河戸主査安倍、西、平井、古川(淳三)、物部の各委員沼田幹事土井囑託出席す
- 同年同月三十日役員會を開き日下部會長岡野副會長金森、後藤、島、竹内、眞島の各常議員古川前會長井上、丹治兩主事野口編輯委員出席日下部會長議長席に着き新任の挨拶あり續て下記事項を決議せり
  - 一、大正十三年度震害調査費の決算を承認すること
  - 一、工學會より照會に係る金屬材料研究所講演會に關する記事を本會々誌に掲載方の件は最近發行の會誌に間に合はざるを以て遺憾ながら斷ること
  - 一、日本學術協會より照會に係る件は更に研究すること
 其他會務に關する事項
- 同年四月六日土木學會震害調査委員會第六回主査會を開き廣井委員長安藝、物部、那波、森の各主査沼田幹事出席す
- 同年同月十日土木學會高速度鐵道調査委員會第二十回特別委員會を開き古川委員長大河戸主査田中、西、平井、古川(淳三)、物部、山崎の各委員沼田幹事野坂囑託出席す

- 同年同月二十日役員會を開き日下部會長岡野副會長草間、後藤、島、竹内、八田の各常議員中山、古市の兩前會長井上、丹治の兩主事川口編輯委員長野口委員出席日下部會長議長席に着き下記事項を決議せり
- 一故中島博士遺族より金參千圓也本會基金中に寄附したき旨申込ありたるに付本會は之を受納することとし挨拶を爲すこと又其名稱を故中島博士記念基金と爲すこと
- 一彙に懸案となり居たる視察旅行を來る五月十五、六の兩日に涉り靜岡縣清水港に變更すること
- 一故阪田貞明君記念事業取扱者井上秀二君より故阪田貞明君記念基金として帝國五分利公債額面金壹千貳百五拾圓也本會基金中に寄附したき旨申込ありたるに付本會は之を受納することとし井上君並に遺族に對し挨拶を爲すこと其名稱を故阪田貞明君記念基金として保管すること
- 一來る五月十日の銀婚式に際しては工學會に於て會員たる各學會を代表し賀表を奉呈の筈に付本會としては別に之を奉呈せざること
- 一米國「スベリ」氏より加茂正雄氏宛萬國技術者大會を日本に於て開催したき旨照會ありたるに付各學會聯合の許に之れが準備委員會を設くることとなり本會に於ては會長に右委員を依頼すること
- 其他會務に關する事項
- 同年四月二十一日編輯委員會を開き川口委員長黒田、佐野、野口、谷井、山崎の各委員三浦囑託出席會誌編輯上に付き協議を爲せり
- 同年同月二十四日土木學會高速度鐵道調査委員會第二十一回特別委員會を開き古川委員長大河戸主査田中、西、古川(淳三)、物部、山崎の各委員土井、野坂の兩囑託出席す
- 同年同月二十五日土木學會震害調査委員會第五部會委員會を開き森主査神原、彭城、鈴木、高橋、山口の各委員出席す
- 同年同月二十八日土木學會震害調査委員會第五部會委員會を開き森主査、神原、彭城、高橋、山口の各委員出席す
- 同年同月三十日土木學會震害調査委員會第一部會第十八回委員會を開き安藝主査、青山、市江、稻葉、佐藤、田村、伴、藤田の各委員沼田幹事出席す
- 同年五月一日土木學會高速度鐵道調査委員會第二十二回特別委員會を開き大河

戸主査田中、西、平井、物部の各委員土井、野坂の兩囑託出席す

○同年同月十四日土木學會震害調査委員會第一部會第十九回委員會を開き安藝主査青山、石川、稻葉、佐藤、高田代(松本)、田村、藤田の各委員出席す

○同年同月同日役員會を日下部會長岡野副會長草間、島、竹内、眞島の各常議員中山、廣井の兩前會長丹治主事川口編輯委員長野口、平井の兩委員出席日下部會長議長席に着き下記事項を決議せり

一震害調査報告書の印刷方並に其費用に關し調査研究を爲すため小委員を設くることとし會長より下記五名に依囑し調査の結果に基き次回役員會に之を諮ること

上記委員 廣井前會長 岡野副會長、太田、竹内の兩常議員、川口編輯委員長一奉天四平街洮昂鐵路工程局より申込に係る會誌實費分與方を承認すること

一神戸高等工業學校より會誌寄贈方照會ありしに對しては之れを謝絶すること但實費分與なれば差支なき旨回答を爲すこと

其他會務に關する事項

○同年同月十五日土木學會高速度鐵道調査委員會第二十三回特別委員會を開き大河戸主査安倍、田中、西、山崎の各囑託沼田幹事野坂囑託出席す

○同年同月十日 銀婚式御盛典御舉行に際し工學會理事長男爵古市公威氏工學會會員たる各學會を代表し左記賀表を捧呈せり

工學會理事長男爵古市公威誠恐誠惶謹ミテ白ス恭シク惟ルニ  
天皇陛下

皇后陛下乾坤德ヲ合シ龍鸞祥ヲ定メ聖化八紘ニ遍ク慈澤四裔ニ敷ク正ニ今日ノ吉辰ヲ以テ大婚二十五年ノ盛典ヲ舉ケサセ給フ億兆ノ臣民誠歡誠喜歛然トシテ慶賀セサル者ナシ今ヤ皇儲英邁大政ヲ攝シ諸王賢明文武ノ業ヲ修メ先帝ノ鴻猷日ニ就リ月ニ將ミ國光大ニ輝キテ萬國平和ノ大勢ヲ制スルニ至ル皇室ノ隆昌振古未タ聞カサル所ナリ工學會ハ日本鑛業會、日本鐵鋼協會、土木學會、火兵學會、煖房冷蔵協會、造船協會、建築學會、工業化學會、電氣學會、電信電話學會、機械學會、照明學會、ノ十二會ヲ以テ成リ常ニ帝國ノ文化ヲ輔ケ聖恩ノ萬一ニ報センコトヲ期セリ今此盛事ニ逢ヒ歡抃欣喜ノ至ニ堪ヘス恭シク賀表ヲ奉リ寶祚ノ無窮ヲ祝ス臣公威誠恐誠惶謹ミテ白ス

大正十四年五月十日

## 工學會理事長從三位勳一等男爵臣 古市公威

○下記の諸氏は退會せられたり

會員中垣直人君同宮城島庄吉君准員笹間松五郎君

○大正十四年三月十六日以降同五月十五日迄に入會を承認し名簿に登録したるもの下記の如し(○印は准員△印は學生員より轉するものを示す)

## 會 員 (四 名)

○千葉省二郎君 ○島山好伸君 ○八島茂君  
三浦鶴彦君

## 准 員 (二十七名)

△岩崎瑩吉君 漆間武君 大森義文君  
片岡幡君 金子眞男君 北村三郎君  
小林勳君 雜賀大三君 澤井八洲男君  
高田昭君 田中章君 田代覺藏君  
△津路嘉越君 中村一俊君 △福田武雄君  
△松田勘次郎君 △松田俊正君 三木己代吉君  
△三好武夫君 宮司房助君 村田喜四郎君  
村山常作君 森左門君 森田利吉君  
安見伊之助君 △山田忠雄君 吉岡平吉君

## 學 生 員 (九 名)

伊藤幸一君 今中次男君 内田博君  
大西保夫君 津田健太郎君 濱田重民君  
原田修君 松原隆君 李熙峻君

○同上寄贈及交換を受けたる雜誌其他下記三十三種なり

## 寄 贈 を 受 け た る 分

大正十三年度事業報告	一冊	財團啓明會
國際建築時論四、五月號	二冊	國際建築協會
土木建築資料通信第七八、八〇號	二冊	土木建築資料通信社
道路 四月號	一冊	道路協會
滿洲技術協會第二卷第六、七號	二冊	滿洲技術協會
名古屋工業會々報第二四、二五號	二冊	名古屋工業會

震災豫防調査報告第九九號	一冊	共	會
製鐵所研究所第四回研究報告	一部	製鐵所研究所	
仙臺高等工業學校紀要研究第三冊	一冊	仙臺高等工業學校	
三菱電機第一卷第二、三號	二冊	三菱電氣株式會社 神戶製作所	
土木建設工事畫報第一卷第三、四號	二冊	工事畫報社	
シビル第四卷第四、五號	二冊	シビル社	
大阪電燈株式會社沿革史	一冊	元大阪電燈株式會社 社長宮崎敬介氏	
工政 第六六號	一冊	社団法人工政會	
都市問題 第一卷第一號	一冊	東京市政調査會	
電氣タイムス創刊號	一冊	電氣タイムス社	
工業評論 第十一卷第五號	一冊	工業評論社	
工學部紀要第十六冊第四、五號	二冊	東京帝國大學工學部	
電氣製鋼第一卷第五號	一冊	電氣製鋼研究會	
電氣 第五卷第五號	一冊	家庭と電氣社	
大阪港勢一斑	一冊	大阪市役所	
大阪港最近十二年	一冊	同市港灣部	
土木試驗所彙報第一輯	一冊	內務省土木試驗所	
港灣 第三卷第三號	一冊	港灣協會	

交 換 の 分

帝國鐵道協會々報第二六卷第二、三號	二冊	帝國鐵道協會	
建築雜誌第三九輯第四六七號一第四六九號	三冊	建築學會	
機械學會々員名簿(大正十三年度)	一冊	機械學會	
鐵と鋼 第十一年第三=第五號	三冊	日本鐵鋼協會	
造船協會雜纂 第四一號	一冊	造船協會	
業務研究資料 第十三卷第三=第五號	三冊	鐵道大臣官房研究所	
大正九年度鐵道災害記事	一冊	同	上
電氣學會雜誌 第四四一=第四四三號	四冊	電氣學會	

准員溝田秀之助君同柳瀬新君は(年月日不詳)死去せられたり本會  
は哀悼の意を表す

土木學會誌 第三卷 第一號

「穴太築・穴太者の事」訂正

本會々誌第三卷第一號(大正六年二月)「穴太築・穴太者の事」中七頁十行に八<sup>○</sup>上<sup>○</sup>の二字に圈點を施し十六行に「八上とは曉八ツ時刻ならんと」解釋せしに今丹波篠山の産にて近傍の地理に通せられたる工學士林禎太郎君より舊記に據り是正を忝ふしたれば爰に其要を擧げ愚見を匡し且つ同君啓蒙の恩を謝す。

七頁十六行の「八ツ時」より十七行の「なり」迄六十一字を削り更に「篠山を距る一里許り八上<sup>やみ</sup>村に在る八上城を指す、元松平周防守の封内にて篠山城落成迄の住所なり」に改む

會員 工學博士 石橋 絢彦

## 新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配付致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合には一部に付下記金額振替口座東京一六八二八に拂込用紙通信欄に其旨記入し請求せられたし

### 残 部 内 譯

第五卷一號二號	一 部 金 壹 圓
第六卷三號六號	同
第七卷一號二號三號四號	同 金 壹 圓 五 拾 錢
第八卷一號二號三號	同 金 貳 圓
第九卷一號二號三號五六號	同 金 貳 圓
第十卷一號二號三號四號五號六號	同 金 貳 圓
第十一卷一號二號三號	同 金 貳 圓
東京市内外交通に関する調査書	金 參 圓
土木學會誌索引	金 五 十 錢

### 本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の宿所の不明なときは會誌の配付を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費の支拂には差支なき様御配慮相成たし

### 會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにて本會より發する振替集金に對し必ず御支拂の事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立共支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙整理の都合有之候に付會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相成たし

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自一月至四月		自五月至八月		自九月至十二月	
		第一期分	二月收	第二期分	六月收	第三期分	十月收
會 員	金 拾 八 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓
准 員	金 拾 貳 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓
學 生 員	金 七 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢

新に入會したるものは月割計算とし入會の翌月集金書を發す

### 會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金集金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して故なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配付をも停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御振込相成たし

### 會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年二月四月六月八月十月十二月(印刷又は原稿等の都合に依り翌月上旬配付の事あり)に發行し漏なく配付すべきに付翌月末着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月経過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配付不可能のことあるべきに付御留意相成たし

領收報告 自大正十四年三月十六日 至大正十五年五月十五日 聞受付分 (受付順)

會員大正十二年度第一期分會費

金壹圓五拾錢 濱口正路君

會員大正十二年度第二期分會費

金六圓宛 池田嘉六君 竹川貞銳君 牛島航君  
溝口潔夫君 堀親道君

會員大正十二年度第三期分會費

金六圓宛 池田嘉六君 竹川貞銳君 山東兵藏君  
久野直君 中村謙一君 牛島航君 中村與一君  
折原佐十郎君 溝口潔夫君 寺井弘君 安永五三君  
堀親道君

會員大正十三年度第一期分會費

金六圓宛 大河戸宗治君 遠武勇熊君 後藤宇太郎君  
竹川貞銳君 吉山盛君 久野直君 澤井準一君  
藤崎三郎君 中村與一君 吉田德次郎君 藤村藁君  
乾廣藏君 保科圭三郎君 平野茂吉君 山田一君  
松浦圓四郎君 溝口三始君 寺井弘君 朝倉政次郎君  
芦田亨介君 豐原雄太郎君 池田嘉六君

金參圓 久保田正雄君

會員大正十三年度第二期分會費

金六圓宛 高橋三郎君 竹川貞銳君 吉山盛君  
久野直君 澤井準一君 中倉專一君 藤崎三郎君  
久保田正雄君 吉村長策君 牛島航君 佐藤清一君  
川地陽一君 保科圭三郎君 溝口潔夫君 小野常治君  
平野武文君 濱口正路君 朝倉政次郎君 堀親道君  
金參圓宛 井口鹿象君 吉田鏡君 吉武正八君  
金壹圓五拾錢宛 青木治助君 岩澤忠泰君

會員大正十三年度第三期分會費

金六圓宛 井上幸一君 野澤房敬君 大河戸宗治君  
岩井宇一郎君 相良守君 野田六次君 濱田東稻君  
吉山盛君 久野直君 奧村長策君 江澤甚一君  
大河内甲一君 大藤直哉君 關口四郎君 堀越清六君  
清水照君 大津道雄君 吉武正八君 佐藤清一君  
倉橋忠志君 中村與一君 吉田德次郎君 福田次吉君  
衣川清一君 吉本龜三郎君 三根奇能夫君 田井九一君  
土屋祥三君 那須章彌君 保科圭三郎君 平野茂吉君  
田崎修君 青木治助君 海野斐雄君 竹俣一郎君  
土田鐵雄君 平野正雄君 濱口正路君 黒田武定君  
岩澤忠泰君 朝倉政次郎君 藤井滋香君 池神重政君  
花井又太郎君 吉富義助君



會員大正十四年度第一期分會費

金 六 圓 宛	三 浦 義 男君	野 澤 房 敬君	龜 井 重 磨君
小 山 泰 交君	福 田 十 太 郎君	志 賀 橋 介君	坂 本 一 平君
與 村 長 作君	廣 瀨 一 郎君	近 藤 皎君	江 澤 基 一君
大 藤 直 哉君	西 出 辰 次 郎君	中 垣 直 人君	牛 島 航君
吉 田 德 次 郎君	田 中 惠君	田 井 九 一君	矢 內 信 讓君
那 須 章 彌君	遠 藤 善 十 郎君	平 野 淺 吉君	溝 口 潔 夫君
吉 田 登 君	青 木 朝 太 郎君	廣 中 一 之君	山 下 齋 治君
照 屋 宏 君	黒 田 武 定君	寺 井 弘 君	岩 澤 忠 恭君
豊 原 雄 太 郎君	廣 石 一 匡君		
金 四 圓	河 口 協 介君		

會員大正十四年度第二期分會費

金 六 圓	野 澤 房 敬君
-------	----------

准員大正十一年度第二期分會費

金 參 圓 宛	森 友 雄君
---------	--------

准員大正十一年度第三期分會費

金 參 圓 宛	尾 崎 義 一君
---------	----------

阿 部 啓君

准員大正十二年度第一期分會費

金 四 圓 宛	森 友 雄君
---------	--------

野 村 眞 道君

阿 部 啓君

准員大正十二年度第二期分會費

金 四 圓 宛	龜 田 惠君
---------	--------

落 合 興 市君

橫 田 清 治君

高 田 善 藏君

野 村 清 次 郎君

木 代 嘉 七君

西 川 延 喜君

金 壹 圓

金 貳 圓

准員大正十二年度第三期分會費

金 四 圓 宛	田 中 拓 也君
---------	----------

安 東 功 郎君

森 四 郎君

惣 尾 蟄 龍君

佐 木 榮 次 郎君

安 食 高 德君

西 本 常 二君

川 野 種 藏君

村 瀬 吉 雄君

原 川 康君

和 田 大 五 郎君

梅 津 理 次 郎君

丸 林 筑 郎君

本 多 又 太 郎君

佐 藤 健 一 郎君

高 田 善 藏君

小 野 光 太 郎君

原 川 康君

今 村 貢君

久 保 茂君

尾 崎 義 一君

佐 藤 興 吉君

田 中 第 二君

後 藤 安 之君

松 村 幸 雄君

山 本 保 之 助君

田 代 隆 亮君

重 松 才 吉君

伊 藤 文 雄君

岸 波 彦 重君

小 谷 榮 治 郎君

外 所 太 重君

石 井 林 次 郎君

金 久 保 佐 七君

鴨 下 勝 太 郎君

岸 波 彦 重君

關 野 忠 治君

濱 本 水 齋 龍君

清 高 樋 松 之 助君

森 鼻 至 良君

渡 邊 甲君

西 村 正 人君

岩 尾 新君

細 田 貫 一君

鈴 木 信 次君

田 中 長 吉君

高 橋 寅 三君

林 爲 藏君

安 藏 善 之 輔君

鈴 木 義 一君

五 島 文 夫君





中 黑 森 伊 白 高 草 飯 近 福 何 津 岩 中 小	山 田 藤 川 良 川 田 藤 岡 野 川	純 富 文 周 末 清 憲 伊 壽 田 岡 野 川	一 隆 助 雄 一 綱 康 美 作 蔚 祥 吉 博 明 七	秋 上 金 松 川 長 阿 山 天 今 淺 田 西 岡 市 杉 宮 鈴	元 床 丸 本 田 部 下 野 村 間 口 川 崎 江 山 崎 木	重 義 廣 一 暉 武 部 清 辰 逸 正 延 保 良 雄 崎 祥	保 隆 貞 郎 二 治 啓 吉 雄 清 雄 雄 喜 吉 雄 次 繁 郎	山 待 服 松 富 稻 山 鴨 高 大 佐 小 小 淺	本 山 部 井 田 浦 田 下 橋 鹽 武 合 川 見	峻 雄 一 郎 君 四 郎 君 三 郎 君 太 郎 君 一 郎 君 二 郎 君 三 郎 君	村 川 後 神 稻 小 和 岡 加 小 澁 堀 胡 松	山 野 藤 谷 林 田 久 藤 田 谷 尾 本	整 通 榮 田 鴻 嘉 近 平 桐 順 豐 敬 次	治 君 之 郎 君 隆 君 策 君 六 君 興 君 吉 君 雄 君 作 君 熊 君 詔 君 郎
---	---	---	---	--	---	---	--	--	--	---	--	--	---	--

准員大正十四年度第一期分會費

金 四 淺 大 貝 杉 鈴 正 武 原 福 山 岩 萩 河 高 中 野 武 平 吉 明 上	圓 野 保 沼 村 木 藤 田 留 形 井 原 野 橋 村 口 藤 井 森 石 原	宛 末 正 護 之 一 太 政 三 正 太 鐵 基 通 和 新 正 於 義 憲 太 二	三 治 時 介 郎 君 太 郎 君 鹿 君 二 君 治 君 弟 君 平 君 作 君 義 君 一 君 一 君 郎	安 荒 小 北 杉 鈴 松 橋 廣 山 山 稻 大 北 武 中 丸 森 山 倉 入 確	達 木 田 村 江 木 本 瀨 田 本 業 內 林 居 原 山 田 山 江 氷	允 君 義 郎 研 吉 彦 郎 次 敏 三 太 吉 勇 正 次 達 忠 幸 昇 寅 矩	荒 伊 小 岩 杉 田 村 原 兵 山 吉 石 鬼 照 高 長 三 服 山 渡 伊 與	川 藤 田 川 山 中 本 田 藤 伊 野 原 木 田 杉 鄉 浦 部 田 藤 村	惠 雅 靜 俊 毅 進 清 直 三 米 三 豐 之 三 衛 太 幸 敬 平 光 舜	助 郎 君 雄 輔 夫 彦 君 武 輔 吉 君 吉 郎 君 吉 郎 君 助 郎 君 二 郎 君 一 郎 君 助 郎 君 男 造 君	櫻 岩 神 喜 鈴 竹 武 濱 菱 山 和 都 野 小 鈴 高 新 村 八 山 麻 今 與	部 橋 代 多 木 中 藤 田 谷 內 田 宮 野 木 橋 見 上 田 本 生 井 田	保 君 藏 三 司 郎 君 義 治 君 彦 君 一 君 辰 君 介 君 城 君 敏 君 德 君 三 君 一 君 三 君 雄 君 哲 君
---	---	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	--	--

大森鶴吉君	岡田民一郎君	大橋厚三郎君	小川信次君
大石大助君	神村孝太郎君	小林廣二君	小柳健吉君
田村己三吉君	谷口廣三君	沼崎寧君	野口圭亮君
福富耕介君	萩原官六君	埴哲郎君	原綱之輔君
橋木芳廣君	平尾俊雄君	藤田正美君	堀越知三君
松村幸雄君	宮本重一君	武藤治吉君	木橋二郎君
松岡修一君	中山熊雄君	森山勝之助君	調所武光君
大木利彦君	鈴木福藏君	中安治郎君	久恒廣君
梶山淺次郎君	松井精二郎君	福井滯君	長田武治君
木村博夫君	小合虎馬二君	瀨川義輔君	前原重晴君
小佐野益二君	秦野重義君	横田稔君	長澤啓三郎君
龜尾喜一郎君	田淵壽郎君	住田薰君	守屋應次郎君
渡邊秋雄君	比企元治君	永田年官君	小幡尙德君
中島洋吉君	松田澄太君	小坂田安夫君	香坂兼夫君
高坂征支君	四本兼雄君	南保忠二君	山本和吉君
中村一造君	北川幸三郎君	井上清太郎君	居川太朗君
沼田政矩君	上山島隆次君	苑木治四郎君	張惟和君
平川保一君	山口圭助君	田中誠一君	市川純一郎君
山口稔君	池野敏夫君	武井外一君	杉俊策君
守山春市君	永戸三郎君	德永泰人君	市川芳次君
龜山利光君	西澤忠三郎君	磯田謙雄君	長屋源太郎君
千々和正止君	松下秀樹君	加藤平吉君	椎名熊太郎君
藤田昭三君	津田等君	菅原清吉君	飯田龍左衛門君
長谷川藤四郎君	安樂兼久君	工藤茂君	佐々木榮次郎君
村尾伴一君	大橋安太郎君	小林庄治君	北條次男君
長澤忠郎君	柴田明治君	高良歌網君	市川恒君
白石虎雄君	北村兵之助君	濤藤靜修君	阿部一郎君
田中浩君	田中種雄君	鬼海治三郎君	杉山雄次郎君
佐藤金太郎君	岩岡武博君	小川喜七君	渡邊六太郎君
渡部清君			
金貳圓宛	藤枝菊次君	雜賀大三君	
金參圓	宮崎繁君		

准員大正十四年度第二期分會費

金四圓宛	長谷川藤四郎君	高良末綱君	千々和正止君	山內新一君
金貳圓	鬼海治三郎君	藤枝菊治君	井上清太郎君	齋藤靜修君
金四圓宛	小川喜七君			

准員大正十四年度第三期分會費

金四圓宛	山內新一君	高良末綱君	井上清太郎君
------	-------	-------	--------

小川喜七君

學生員大正十一年度第三期分會費

金壹圓	下島經周君			
學生員大正十二年度第一期分會費				
金貳圓五拾錢宛	下島經周君	島崎亮吉君		
學生員大正十二年度第二期分會費				
金貳圓五拾錢宛	長田純二君	正吉幸貞君	下島經周君	
學生員大正十二年度第三期分會費				
金貳圓五拾錢宛	植本修造君	岡田喜一郎君	鈴木祥六郎君	
正吉幸貞君	下島經周君	若原政夫君		
學生員大正十三年度第一期分會費				
金貳圓五拾錢宛	下島經周君	若原政夫君		
學生員大正十三年度第二期分會費				
金貳圓五拾錢宛	吉原正明君	下島經周君		
金六拾貳錢宛	本莊秀一君	市川恒君		
金壹圓八拾七錢	井上秀夫君			
金壹圓貳拾五錢	井上清太郎君			
學生員大正十三年度第三期分會費				
金貳圓五拾錢宛	下島經周君	中村正照君	末松榮君	
高敏那君				
金六拾貳錢	鈴木祥太郎君			
金壹圓八拾七錢	植本修造君			
學生員大正十四年度第一期分會費				
金貳圓五拾錢宛	山本英俊君	渡邊儀一君	岡田正一君	
岡田四郎君	長坂一彦君	富田龍一郎君	小林幸治君	
小山俊一君	清水政實君	藤井虎雄君	中村鏡郎君	
山田康吉君	河村秀一君	土田喜三次君	中山光治君	
張昌熙君	堀田讓君	野口兼吉君	杉浦義高君	
伊藤茂利三君	小泉正巳君	門澤利三君	佐藤寬君	
川上暢夫君	多賀光君	村上正雄君	岡村増次郎君	
松本金吾君	友松退藏君	室川與一君	田中民夫君	
白石益雄君	岡野幸三郎君	加藤喜一郎君	桃田喜一君	
郷在英君	小林勇君	櫻井季男君	内川龍雄君	
宮川貞二君	金谷三郎君	下島經周君	島崎亮吉君	
長谷川六三郎君	井上秀夫君	富澤精司君	光井三郎君	
鈴木嘉一君	福島三七治君	劉作樞君	中明宅次君	
小野道人君	北松友義君	家根内義一君	田中菊知君	
國富忠寬君	高木健吉君	近藤醇厚君	中村正照君	
片岡諱君	大野博君	芳井忠夫君	末松榮君	
平井寬君	綿貫義章君	高敏那君	二村宏君	
阿部鐵藏君	加納次郎君	中間友義君	江上義那君	
宮村茂雄君				
金壹圓八拾七錢宛	浪平貞雄君	西口品三郎君	永淵五郎君	

蒲原要三君

藤原一雄君

賞金拾圓

昭和十四年度第二回分發費

賞金拾圓

蒲原要三君

藤原一雄君

賞金拾圓

勝並治八君

豐住豐君

内田博君

平貞雄君

勝並治八君

豐住豐君

内田博君

杉原祐一君

美藤義利君

西日品三郎君

松原祐一君

永淵五郎君

美藤義利君